

城山エコミュージアム通信

平成26年(2014)6.15 第20号



エコミュージアムとは、エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

“城山”が良く見える 城山地区今昔



城山地区から見た“城山”

地域紹介

城山地区今昔

おはなし ^{あきら} 山口 昭さん

^{みつとし} 山崎 満敏さん

^{ふさきち} 金子 房吉さん

加藤 正彦さん

(城山地区在住)



地区紹介 圏央道の工事によって、大きく変わりつつある城山地区を訪問取材。ここはとおい昔から続く集落で、「上川尻村」の中心でした。都畑(都井沢・畑久保)と呼ばれ、「イチブ(第一部落=部落は地区という意味)」と略称されたこともありました。昭和30年頃には40数軒でしたが、かつて畑や桑畑だった場所の宅地化が進み、今では10倍の450世帯程に増えました。

昔の地域は 8月27日の川尻八幡宮のお祭りには、都井沢の観音様(慈眼寺跡)前の広場に神輿を迎え、地元の担ぎ手が神輿をもみ、遠く山野(向原地区)の方までねり歩き、疲れましたね。帰り道かんば坂(久保沢地区)を登る際には、急勾配のため肩が痛くなり背中に乗せて運びました。また、夜暗くなるまで歩いたので、ヒデ(松の木の根で油を多く含んだところ)を灯しながら運びました。昔の青年たちは元気だったなあ。そうそう、昔は橋本や相原辺りの汽車の汽笛が聞こえたものです。天気具合ですかね?それとも近頃は騒々しくなったので聞こえなくなったのかな?

城山地区の良い所は? 「都畑はジンキ(人柄)がいいところ」と云われてきました。「都畑のサトイモはまったく旨エ!(おいしい)」と評判。土質が芋に適しているそうです。(2ページ目へ続く)

子どもの頃に食べたもの

おやつといえば

サツマイモ

木の実 ...特にドドメ(桑の実)は、食べると口の中が、赤紫色になる。美味しい木と美味しくない木があった。

他にもこんなもの

うどん ...麦が主流だったため

せいだいも(じゃがいも)

いとこ餅 ...米と粟でできた餅。

^{あかほ}陸稻(畑で育てる稲)

...お餅にすると美味しかった。

ゴットロ(ゴトロ)...ヒキガエルのこと。焼いてから茹でると、肉離れが良く佃煮にして食べた。貴重なたんぱく源だった。子どもの頃、久保沢の田んぼ等へよく捕りに行った。



今回のトピック 地域紹介「城山地区今昔」、城山探訪「60年に1度の御開帳」、城山検定「このマークは何?」等





観音様前の広場でのお神輿のもみ合い

遊びについて

- ・コマ回し（朝鮮ゴマ、ベゴマ）
- ・パース（メンコ）
- ・リーム転がし（タガ回し・輪回しのようなもの）
リーム = 自転車のタイヤの金具のこと
- ・水鉄砲
- ・突き鉄砲...篠で作り杉の花の実を入れて背中に向かって撃ったので、背中は花粉で色が付きました。他にも、お茶の花のつぼみ等を使いました。
- ・カルタ取り（百人一首）...親の代ではカルタ取り（百人一首）をやっていた事が印象に残っています。小松地区の青年たちとも交流してロマンスも生まれたとか。子どもは“いろはかるた”もやったそうです。

青年たちの活動

明治末期、地域の青年たちは「二月会」という「勸業、読書」サークルをつくり、協働事業で収入を得て、本を買い、議論などしあったそうです。大正時代の青年は、竹細工に挑戦し、土産物づくりを試みたそうです。



二月会の面々（左上） 竹細工の花活け（右上）

圏央道が景観を変えた！

城山地区のちょうど真ん中を圏央道が通っているため、圏央道の防音壁が立ち塞がった形になりました。場所によっては今まで見えていた城山が見通せなくなってしまったのが残念ですね。しかし、この違和感もそのうち慣れるかな？

城山地区の皆さん、お話いただき、ありがとうございました！（斎藤 雄也）

知ってナットク！
しろやま



城山
検 定

問題

右の地図は、明治時代の地図をもとに描かれたものです。図中の印の場所には明治時代の地図上、同じ地図記号が使われています。それは次のうちどれでしょうか。

- 畑 桑畑 田 荒地





御開帳の様子（撮影 田中 次雄）

久保沢観音堂は津久井観音霊場43札所の内の第5番札所で、温泉坂下の高台から久保沢宿を見守っています。久保沢観音堂に伝わる御詠歌に、「曇りなき月の桂の 昌寺御影新たに 照らす久保沢」と詠われています。ご詠歌の中に桂昌寺と読み込まれているように、久保沢観音堂は桂昌寺持ちの観音堂でした。明治39年の大火で桂昌寺が焼失のため、大正元年に谷ヶ原の林泉寺と合併して現在の万寿山大正寺となりました。以来、久保沢観音堂は大正寺持ちの観音さまです。ご本尊は「聖観音」ですが、このお堂には、西国観音、板東観音、秩父観音合わせて百駄の石造の観音さまが祀られています。吊るし飾りに

彩られる中、ご本尊を中心にそれは壮観なお姿です。ご本尊は普段は厨子の中に祀られていて拝観することはできませんが、津久井観音霊場では^{うま}午年に本開帳、^ね子年には半開帳と言われて、6年毎にご開帳が行われて拝観することができます。加えて、今年（平成26年）の干支は^{きのえうま}甲午、60年に一度の^{うまとし}午年の始まりの年にあたり一層賑やかな観音巡礼の年になります。観音さまは仏さまの中でも親しみを感じる菩薩さまですね。数あるお経の中でも、人々に親しまれているお経の中に「摩訶般若波羅密多心経（般若心経）」があります。たった266文字のお経の中に、観音さまの教えが込められているそうです。観音さまは、聖観音、十一面観音、千手観音、馬頭観音、如意輪観音、^{じゆんてい}准胝観音（^{ふくろけんじやく}不空羂索観音）等が有名です。津久井観音霊場は宝歴年間（1751～1764）に根小屋の雲居寺の大雲禅無和尚が津久井郡内一円の観音さまを祀る寺院に呼びかけて33の霊場を定めたのに始まると伝えられています。城山地区内の津久井観音霊場は、他にも湘南寺（小倉）宝泉寺（小松）東林寺（葉山島）があります。（田中 次雄）



久保沢観音堂案内図



城山地区では御蚕様と呼ばれたカイコ桑の葉を元気よく食べている（6月初）



一緒に調べてみませんか？

地域の養蚕研究開始！

城山エコミュージアムでは、あらたな取り組みとして、かつて城山地域でさかんだった「養蚕」について研究を始めました。今までご提供頂いた昔の写真等を確認したり、実際にお蚕の飼育観察をおこない生態観察に挑戦する等、さまざまな視点から、城山の養蚕についてひも解くことを目的に、研究を始めました。あなたもぜひ、一緒に調べてみませんか？

この活動に興味を持たれた方は、詳しくは、城山公民館（042-783-8194）まで



平成 26 年度相模原市城山エコミュージアム第 1 回総会報告



挨拶する山口元委員長

平成 26 年度人事紹介

委員長 塩谷 弘道さん
副委員長 樋口 孝治さん
幹事は 25 年度役員が再任されました

平成 26 年 4 月 26 日（土）城山総合事務所の会議室で開催されました。本年度より担当課が生涯学習課城山教育班より城山公民館になり、城山エコミュージアム運営委員会の委員長は山口清さんから塩谷弘道さんにバトンタッチされました。山口元委員長からは、「活動の活発化とともに、史実などを検証して、エコミュージアムらしい、市民主体の活動をしてほしい」とのあいさつがありました。活動報告、計画案も満場一致で了承。平成 25 年度の成果として「城山エコミュージアムの旅」ガイド資料（右写真）も出来上がりました。今後皆様にご活用いただけるよう期待しています。本年もよろしく御指導・ご協力をお願いします。



完成したガイド資料

会員一同（記・宮崎 紀美子）

城山検定

解説



正解は、(2) 桑畑

明治時代、城山地区には（上・下）川尻村、中沢村、小倉村、葉山島村がありましたが、田に適した土地は山間の小河川があったところ位でした。そのため田以外の麦、大豆、小豆、茶などの畑が主となり、副業として養蚕が行われました。桑は江戸時代には畑の周囲に植えられたり、山野で高木になった桑を利用したりしていました。明治以降、養蚕が盛んになるに従い畑地の桑園化が進みました。地図上、畑の周囲に植えられた桑も桑畑されているようですが、いずれにせよこれほどまでに桑が植えられていたとは驚きです。（参考文献 城山町史） 出題者：山口 雅之

😊😊😊 ただいま募集中！ 📞

養蚕関係の情報募集中！

城山エコミュージアム通信では、これからシリーズものとして、かつて盛んだった「養蚕」を取りあげていきたいと考えています。現在、城山地区では養蚕を行っている農家は一軒も残っておりません。養蚕がおこなわれていた時のことを覚えていらっしゃる方、現在でも残っている養蚕の道具など情報がございましたら、ご連絡いただければ幸いです。

予 告

今年度城山エコミュージアムツアーは、
10月25日（土）開催予定
（雨天時は、同26日（日）に延期）
詳しい内容は、次号掲載予定です。



編集 後記

今回、取材に行き様々なお話をお聞かせいただきました。地域の人の話は、エコミュージアムにおいて貴重な財産だと改めて感じました。（斎藤雄也）

企画/作成：相模原市城山エコミュージアム運営委員会

発行：相模原市立城山公民館

TEL：042-783-8194【直通】

FAX：042-783-1721

この通信のバックナンバーは、ホームページ（パソコン）からもダウンロードすることができます。携帯からも活動内容をご覧頂けます。

